



戦争を RAT
 夢を SAN
 望みは NADA と言いなおし

「表象文化とグローバリゼーション」
 リレー講義

たゆたう国々

たとえば
 あらゆる国は

水にただよう国

国境は

いずこも

危うく

火が放たれ

救いも見えず

いずれの国も
 苦い水に

たゆたう土地

（詩集『みをはやみ』より）
 「たゆたう国々」より

サヴァ川の流れ

夜にあわだつ

言語の海は
 私の島が
 灯をともし
 （詩集『みをはやみ』
 「私の島」より）

ベオグラード在住の詩人

山崎佳代子先生講演会

司会：沼野恭子（東京外国語大学教授）

日時：11月4日（木）

5限 16：30～18：00

場所：東京外国語大学

研究講義棟 2F / 226教室

共催：総合文化研究所

お問い合わせ：nukyoko@tufs.ac.jp



詩集『みをはやみ』
 （書肆山田）

山崎佳代子 Kayoko Yamasaki

詩人、翻訳家、ベオグラード大学文学部教授。1979年にユーゴスラビア国費留学生としてサラエボ大学に入学、その後リュブリャナへ。1985年よりベオグラード大学に新設された日本学科に勤務。2003年ベオグラード大学で博士号取得。詩集『アトス、しずかな旅人』『薔薇、見知らぬ国』『みをはやみ』（書肆山田）など。20世紀後半の世界文学を代表するセルビアのユダヤ系作家ダニロ・キシユの優れた紹介者としても知られ、訳書に『若き日の哀しみ』『死者の百科事典』（いずれもダニロ・キシユ、東京創元社）などがある。NATO軍によるベオグラード空爆のときも町に残り、セルビア語と日本語の間を往復しながら詩を書き続けた。



カレメグダン公園



Photocopyy : Marko Todorovic